

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 広島県東広島市立入野小学校 (※正式名称を記載)

種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>

中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校

教員養成大学  専修学校、各種学校

特別支援学校

その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒739-2209

広島県東広島市入野中山台4丁目20番1号

E-mail nyuno-sho@city.higashihiroshima.hiroshima.jp

Website http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/school/nyuno\_sho/

幼児児童生徒数 男子 79名 女子 72名 合計 151名

幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「笑顔いっぱい夢いっぱい」を学校理念として、ESDを研究の柱と捉え、ESDの実践を通して思考力・表現力・主体性の育成を目標とした。

具体的には、①キャリア教育、②多文化理解、③環境問題に係わる学習を行った。

### ① キャリア教育に係わる活動

働く人々に対する興味・関心をもつとともに、社会体験や自然体験を通して、働くことと社会がどのようにつながっているのかを理解することができた。また、所属する集団における自分の役割や、ふるさと入野の将来を考え、集団の一員としてよりよく行動する態度を育てた。

## ② 多文化理解に係わる教育

我が国とふるさと入野の文化と伝統を尊重する態度の育成を重視し、世界の文化と歴史についての理解を深め、国際社会の将来を考え、集団の一員として行動する人間の資質を養った。

## ③ 環境教育に係わる学習

ふるさと入野の自然や環境に関心を持ち、地域の人々とふるさとの環境の関わりについての総合的な理解と認識の上に立って、持続可能な社会をつくるための環境の保全に配慮した望ましい働きかけのできる技能や思考力、判断力を身に付け、より良い環境の創造活動に主体的に参加し、環境への責任ある行動をとることができる態度を育成した。

## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

#### ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input checked="" type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

#### ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

総合的な学習の時間を中心に、年間指導計画に位置付けている。各学年の総合的な学習の時間の年間指導計画に、単元の目標や指導方法、活動内容を具体的に記述し、それをもとに教育活動を推進している。また、年間の研修計画に基づき、校内授業研修を行う等して、指導方法の改善に努めている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

ESD 担当を定めて全体計画を策定し、職員全体に周知した上で、それに基づいて取組を実施している。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

ESD アンケートを年に3回実施し、児童の実際の行動や意識の変容等の実態を把握している。学校関係者評価委員会を年3回実施する際には、ESD アンケートを基にした評価を行い、取組の評価と改善に活かしている。その結果、表現力や主体性、協働する力を伸ばす必要があることが明らかになった。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（200字程度）

※チェック事項 2-2 に対応

東広島市で行われる福祉まつりにおいて、活動の内容等をパネルで発表している。そのことにより、市民に ESD とは何か、どのような活動を行っているのかについて啓発を行った。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD 活動支援センター、ESD コンソーシアムとの連携など）（200字程度）

※チェック事項 2-3 に対応

岡山理科大学の教授を招聘し、ESD の活動内容や授業実践等について研修を受けたり、実践を報告したりするなどの連携を行った。また、広島大学 ESD コンソーシアムと連携し、研修会に参加したり、ESD 全国大会に参加したりした。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）  
※チェック事項 2-4 に対応

今年度は実施していない。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

子供達の主体性や表現力が向上した。また、教員の ESD に対する理解や実践の方法についての理解が進んだ。思考ツールの具体的な使用の方法についても研修を行い、児童が必要に応じて使いこなしたり、教職員が授業の中で活用したりできるようになった。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

ESD の目標の達成に向けて、国語科と生活科・総合的な学習の時間の教科横断的なカリキュラム開発を行い、設定した資質・能力の育成及び目指す子供像実現を目指していく。国語科では、主に思考力・表現力（学習スキル）について、生活科・総合的な学習の時間では、主に協働する力（価値観）の育成に力点を置き、カリキュラム開発に取り組んでいく。